

## 県内の景気動向

概況（2021年5月）

### 景気は、後退している

観光関連では、入域観光客数は低水準での推移が続く

消費関連では、百貨店売上高は低水準での推移が続く

5月の県内景気をみると、消費関連では、百貨店は前年の緊急事態宣言発出による営業時間短縮及び臨時休業による反動で2カ月連続で前年を上回った。スーパーは新型コロナウイルス感染拡大で巣ごもり需要が本格化した前年の反動により食料品、住居関連が減少したことから、既存店ベースで前年を下回った。耐久消費財では、前年同月の落込みによる反動の他、軽乗用車が増加したことなどから2カ月ぶりに前年を上回った。電気製品卸売販売額は、家電量販店向け販売でAV製品、洗濯機、冷蔵庫などが増加したことなどから4カ月ぶりに前年を上回った。

公共工事請負金額は、独立行政法人等・その他は減少したが、国、県、市町村は増加したことから、2カ月連続で前年を上回った。建築着工床面積（4月）は、居住用、非居住用ともに減少したことなどから4カ月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数（4月）は、持家、分譲、給与は増加したが、貸家は減少したことなどから3カ月連続で前年を下回った。

観光関連では、入域観光客数、主要ホテルの計数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が鮮明となった前年との比較となったため、前年比では上回ったものの、新型コロナ前の2019年と比較すると大幅な減少となっており、悪化した状況が続いている。

総じてみると、消費関連は新型コロナウイルスの影響で弱含んでいること、建設関連は民間工事に一服感がみられ弱含んでいること、観光関連は新型コロナウイルスの影響で悪化しており、県内景気は後退している（5カ月連続）。

### 消費関連

百貨店売上高は、前年の緊急事態宣言発出による営業時間短縮及び臨時休業による反動で2カ月連続で前年を上回った。スーパー売上高は、新型コロナウイルス感染拡大で巣ごもり需要が本格化した前年の反動により食料品、住居関連が減少したことから、既存店ベースでは4カ月連続で前年を下回った。全店ベースは3カ月ぶりに前年を上回った。新車販売台数は、前年同月の落込みによる反動の他、軽乗用車が増加したことなどから2カ月ぶりに前年を上回った。電気製品卸売販売額は、家電量販店向け販売でAV製品、洗濯機、冷蔵庫などが増加したことなどから4カ月ぶりに前年を上回った。

先行きは、一部で持ち直しの動きがみられるも、新型コロナウイルスの影響などにより引き続き弱含む動きが続くとみられる。

### 建設関連

公共工事請負金額は、独立行政法人等・その他は減少したが、国、県、市町村は増加したことから、2カ月連続で前年を上回った。建築着工床面積（4月）は、居住用、非居住用ともに減少したことなどから4カ月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数（4月）は、持家、分譲、給与は増加したが、貸家は減少したことなどから3カ月連続で前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事は減少したものの、民間工事は増加したことなどから4カ月ぶりに前年を上回った。建設資材関連では、セメントは11カ月連続で前年を下回り、生コンは11カ月連続で前年を下回った。鋼材は鉄スクラップなど原材料の需給ひっ迫により一部で単価の上昇がみられるものの、分譲住宅など民間工事の引き合いが弱いことなどから前年を下回り、木材は需給ひっ迫により木材価格が上昇したことなどから前年を上回った。

先行きは、手持ち工事額は引き続き高水準であるものの、民間工事に一服感がみられることから弱含むとみられる。

## 観光関連

入域観光客数は、2カ月連続で前年を上回った。国内客は増加したが、外国客は引き続き0人となった。県内主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入ともに前年を大きく上回った。主要観光施設入場者数は前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに前年を上回った。ただ、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の延長で人的移動制限の影響は続き、新型コロナ以前の2019年と比較すると、依然として大幅な減少となっている。

先行きは、世界各国で新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるものの収束時期は依然として不透明であること、東京オリンピック・パラリンピックは外国客の受け入れを断念したことから、外国客が動き出すのは時間を要しよう。国内に目を向けると、全国的に一時運用停止となっているGoToトラベルの再開時期は不透明であること、オリンピックは観客数の入場制限がかかるなど、人的移動制限の大幅な緩和は見込めない。当面は、低水準での推移が続くものとみられる。一方で、新型コロナウイルスのワクチン接種は今後一層進むことが見込まれることから、秋口以降は徐々に回復することが期待される。

## 雇用関連

新規求人数（4月）は、前年同月比12.7%増となり17カ月ぶりに前年を上回った。情報通信や衣料・福祉などで減少した。有効求人倍率（4月、季調値）は0.78倍と、前月より0.02ポイント上昇した。完全失業率（4月、季調値）は3.9%と、前月より0.5%ポイント上昇した。

## その他

消費者物価指数は、光熱・水道、交通・通信などの下落により、前年同月比0.2%減と2カ月連続で前年を下回った。

企業倒産は、件数が7件で前年同月を7件上回った。負債総額は13億5,900万円で、前年同月比で全増となった。

# りゅうぎん調査（2021年5月）

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2021.3-2021.5)
<b>1. 消費関連</b>		
(1) 百貨店(金額)	56.4	34.6
(2) スーパー(既存店)(金額)	▲ 1.2	▲ 1.9
(3) スーパー(全店)(金額)	0.8	0.0
(4) 新車販売(台数)	30.4	3.5
(5) 電気製品卸売(金額)	7.7	0.1
<b>2. 建設関連</b>		
(1) 公共工事請負金額(金額)	47.3	15.9
(2) 建築着工床面積(m <sup>2</sup> )	(4月) ▲ 16.8	(2-4月) 1.2
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(4月) ▲ 19.1	(2-4月) ▲ 22.9
(4) 建設受注額(金額)	27.0	▲ 42.1
(5) セメント(トン数)	▲ 7.8	▲ 7.9
(6) 生コン(m <sup>3</sup> )	▲ 18.2	▲ 19.9
(7) 鋼材(金額)	P▲ 8.8	P▲ 10.8
(8) 木材(金額)	16.0	0.4
<b>3. 観光関連</b>		
(1) 入域観光客数(人数)	343.6	46.3
うち外国客数(人数)	0.0	0.0
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) 15.3 (実数) 17.2	(前年同期差) 6.0 (実数) 20.7
(3) " 売上高(金額)	1,663.9	84.5
(4) 観光施設入場者数(人数)	P4,510.9	P102.4
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	78.4	49.1
(6) " 売上高(金額)	132.1	45.9
<b>4. その他</b>		
(1) 県内新規求人数(人数)	(4月) 12.7	(2-4月) ▲ 9.8
(2) 有効求人倍率(季調値)	(実数、4月) 0.78	(実数、2-4月) 0.76
(3) 消費者物価指数(総合)	▲ 0.2	▲ 0.1
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 7	(前年同期差) 8
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(4月) 14.7	(2-4月) ▲ 0.9

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 百貨店は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

(注3) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

(注4) 主要ホテルは、2019年8月より調査先を25ホテルから28ホテルとした。

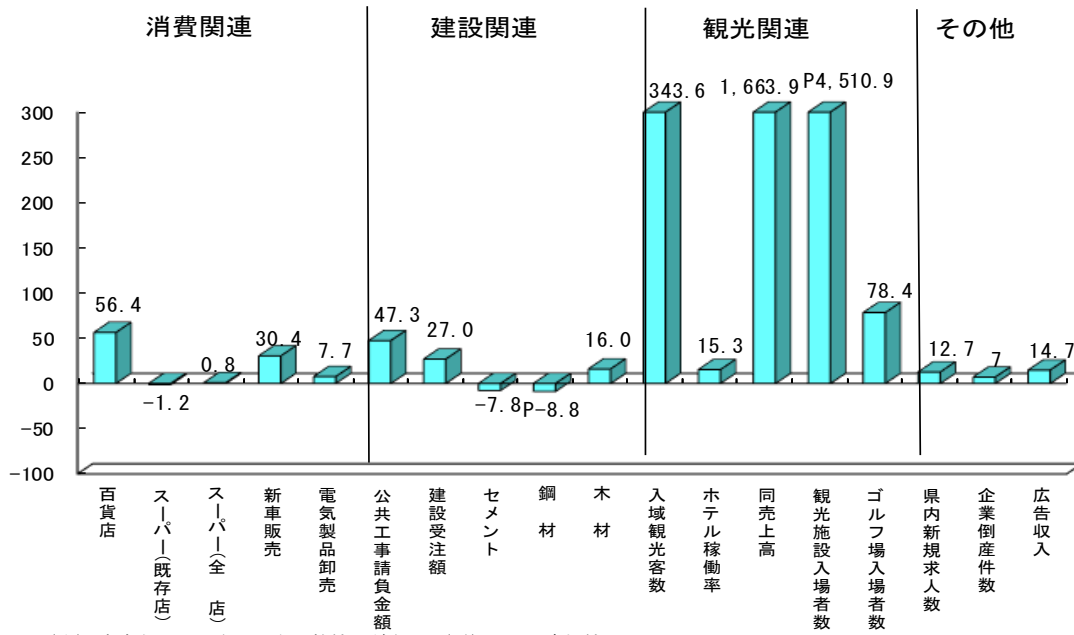
(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

(注6) 建設受注額は、2021年1月より調査先を18社から17社とした。

(注7) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人数(人数)は、就業地ベース。

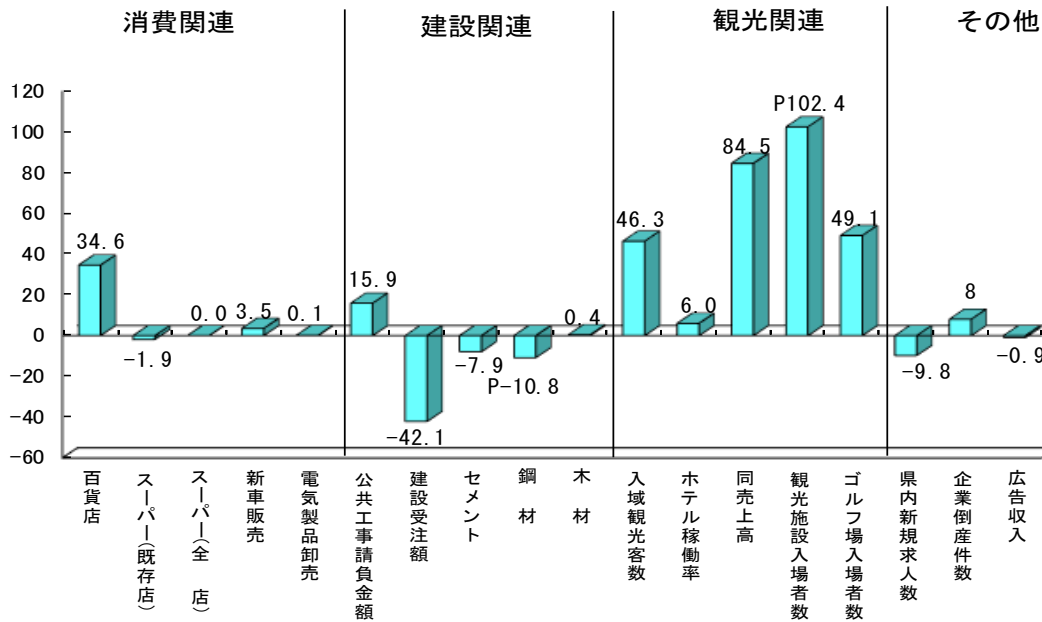
(注8) ゴルフ場は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

項目別グラフ(単月、2021年5月)



(注) 広告収入は21年4月分。数値は前年比(%)。Pは速報値。  
 ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。Pは速報値。

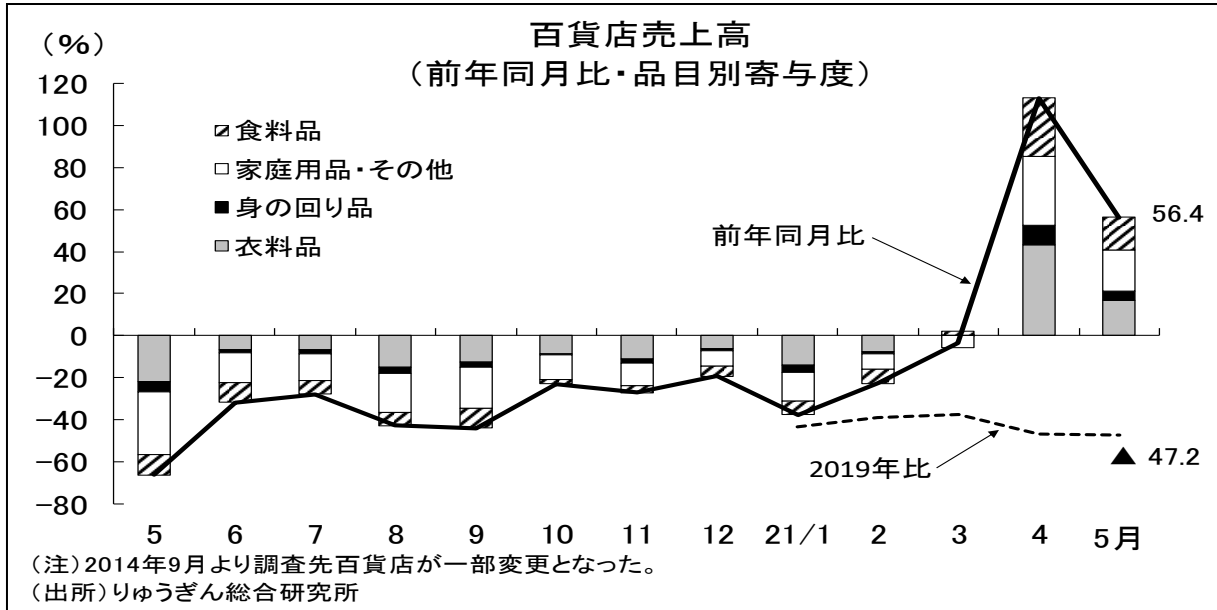
項目別グラフ(3カ月、2021年3月~2021年5月)



(注) 広告収入は21年2月~21年4月分。数値は前年比(%)。  
 ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

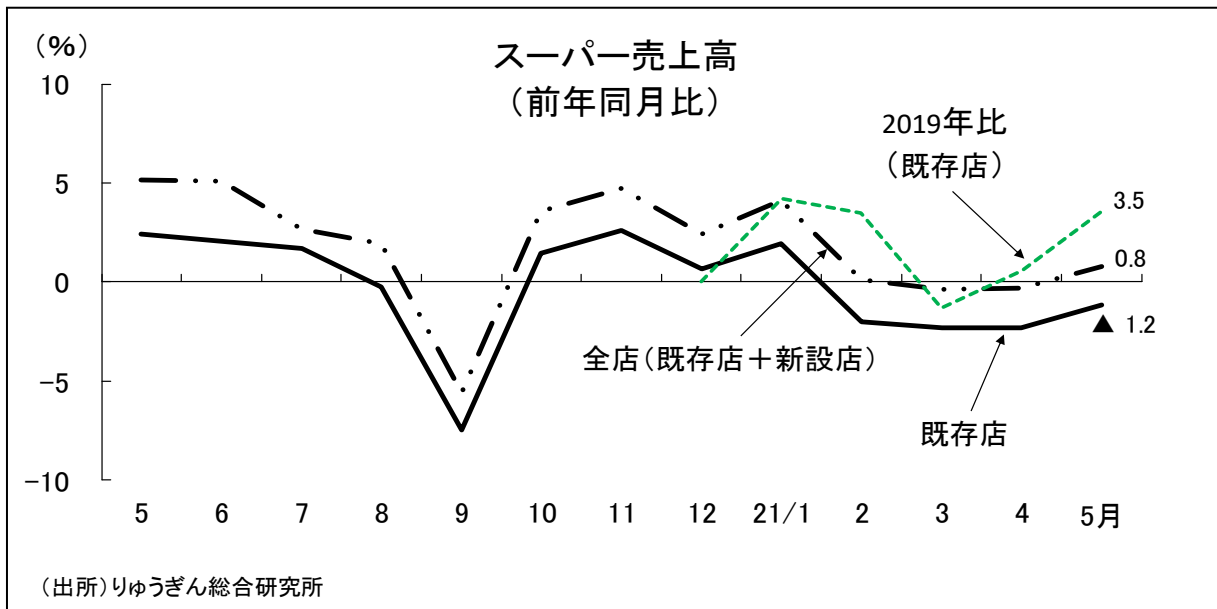
# 1. 消費関連

## (1) 百貨店売上高：2カ月連続で増加



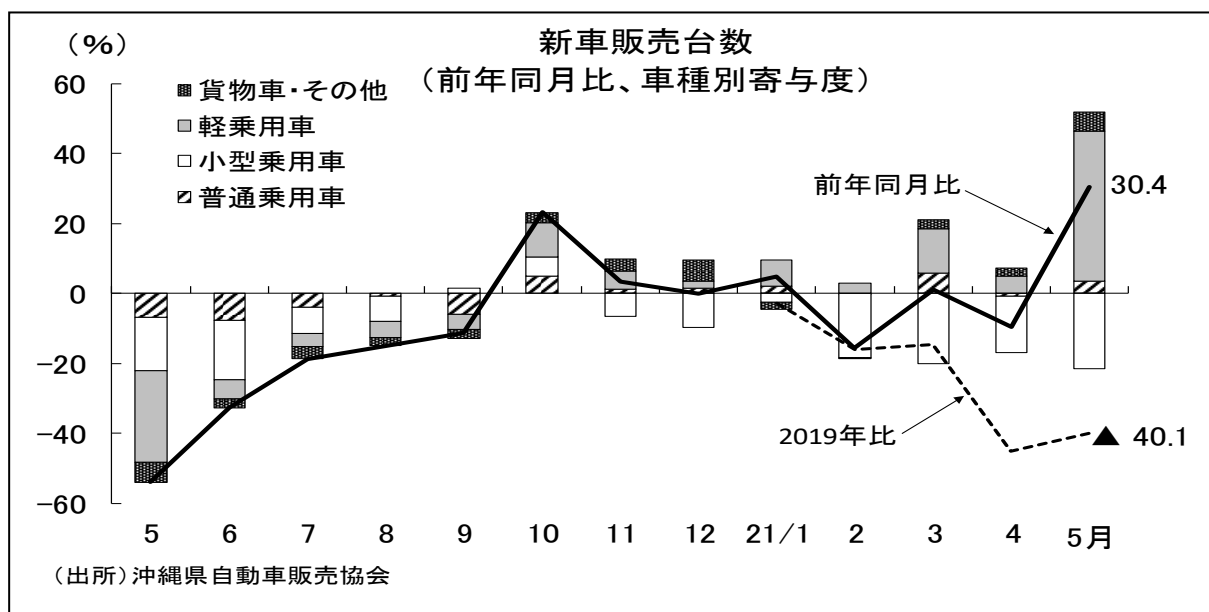
- 百貨店売上高は、前年の緊急事態宣言発出を受けた17日間の営業時間短縮及び14日間の臨時休業による反動で、前年同月比56.4%増と2カ月連続で前年を上回った。
- 品目別にみると、食料品(同54.8%増)、家庭用品・その他(同59.4%増)、身の回り品(同77.0%増)、衣料品(同51.2%増)が増加した。
- 新型コロナウイルス感染拡大に伴うまん延防止等重点措置及び緊急事態宣言発出による外出自粛・消費マインドの低下などにより、新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は47.2%の減少となった。

## (2) スーパー売上高：全店ベースは3カ月ぶりに増加



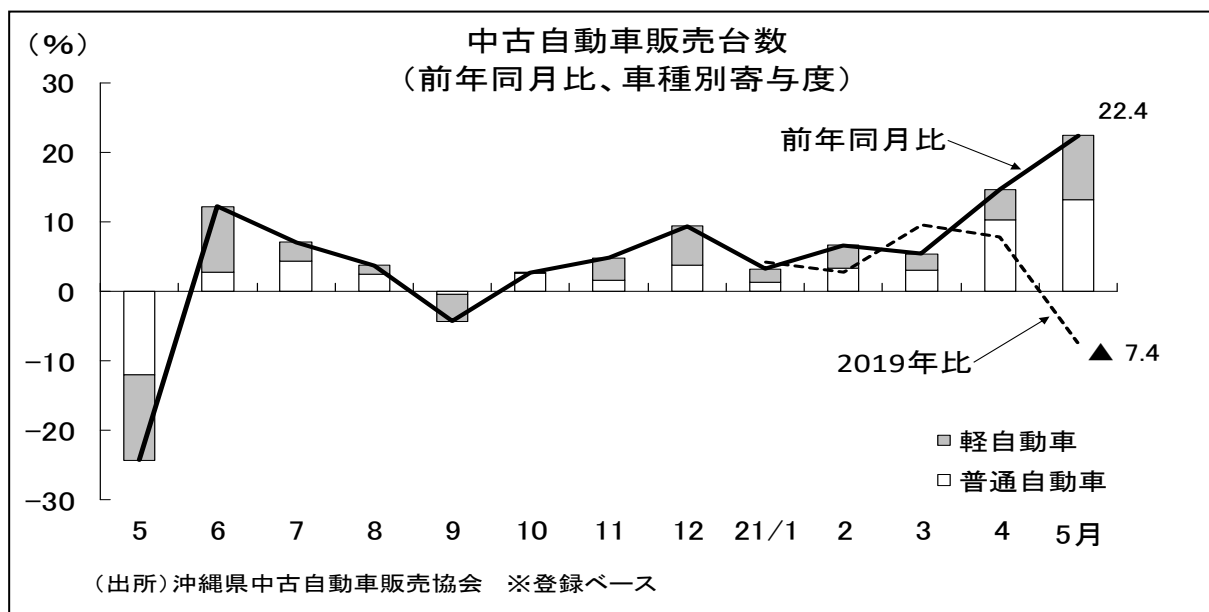
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比1.2%減と4カ月連続で前年を下回った。
- 食料品は、新型コロナウイルス感染拡大による巣ごもり需要が本格化した前年同月の反動により、同1.7%減となった。衣料品は外出自粛で落ち込んだ前年の反動により同7.2%増、住居関連は同1.0%減となった。
- 全店ベースでは、同0.8%増と3カ月ぶりに前年を上回った。
- 新型コロナ以前の2019年と比較すると、既存店ベースでは3.5%の増加となった。

(3) 新車販売台数：2カ月ぶりに増加



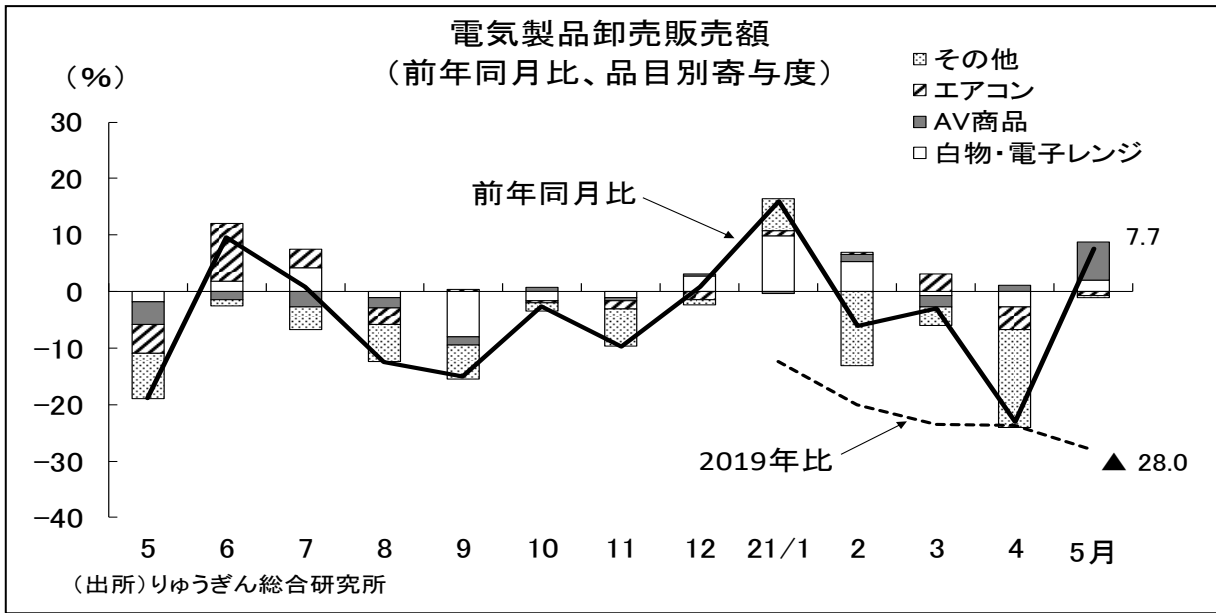
- ・ 新車販売台数は2,813台となり、前年同月比30.4%増と2カ月ぶりに前年を上回った。前年同月の落ち込みによる反動の他、軽乗用車が増加したことなどから前年を上回った。
- ・ 普通自動車（登録車）は941台（同30.9%減）で、うち普通乗用車は419台（同22.2%増）、小型乗用車は391台（同54.2%減）であった。軽自動車（届出車）は1,872台（同135.2%増）で、うち軽乗用車は1,524台（同153.6%増）であった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、40.1%の減少となった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：8カ月連続で増加



- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は1万8,085台で前年同月比22.4%増と、8カ月連続で前年を上回った。
- ・ 内訳では、普通自動車は7,138台（同37.3%増）、軽自動車は1万947台（同14.3%増）となった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、7.4%の減少となった。

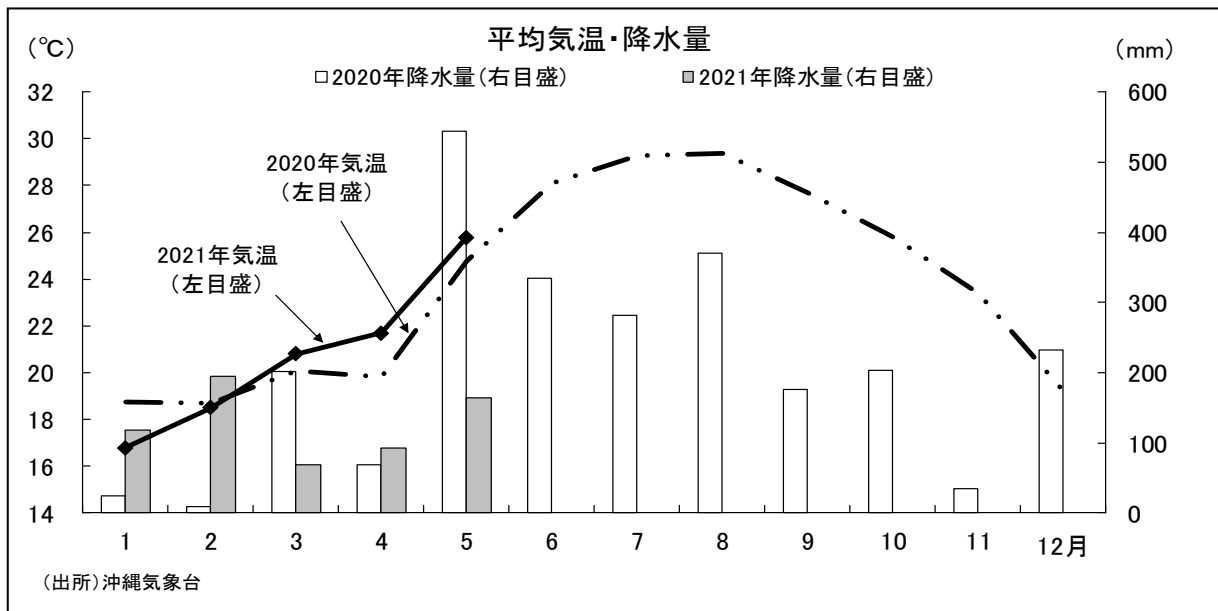
(5) 電気製品卸売販売額：4カ月ぶりに増加



- ・ 電気製品卸売販売額は、家電量販店向け販売でAV製品、洗濯機、冷蔵庫などが増加したことなどから、前年同月比7.7%増と4カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 品目別にみると、AV商品ではテレビが同67.8%増、BDレコーダーが同193.7%増、エアコンが同3.8%減、白物では冷蔵庫が同0.9%増、洗濯機が同24.8%増、その他は同0.6%減となった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、28.0%の減少となった。

(参考)

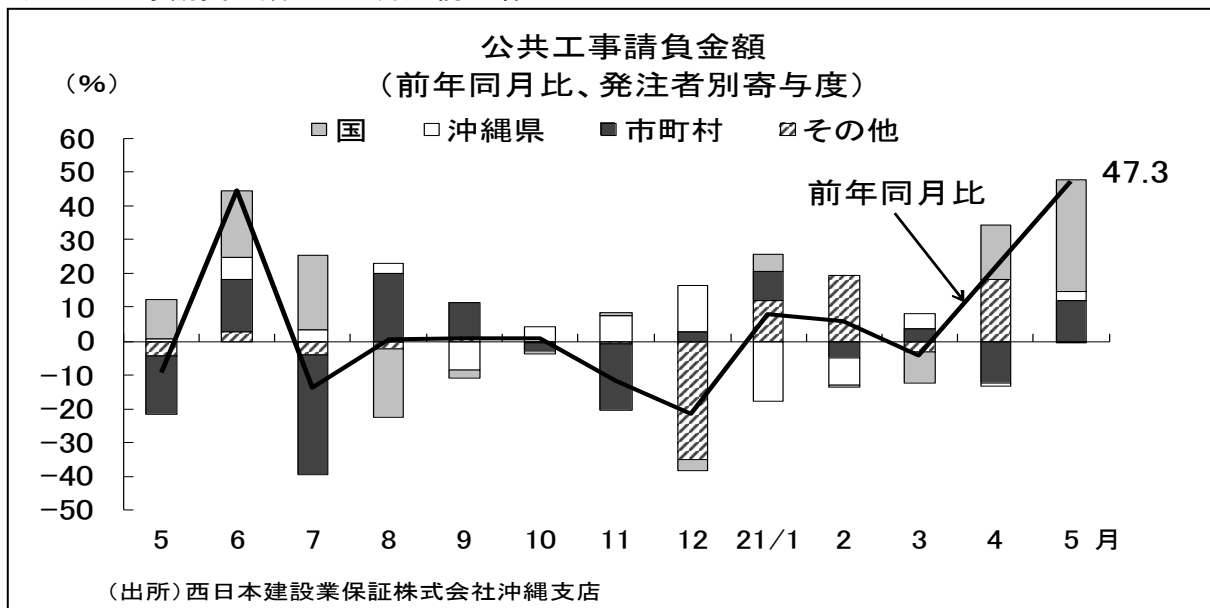
◇ 気象:平均気温・降水量 (那覇)



- ・ 平均気温は25.8°Cとなり、前年同月(24.8°C)より高く、平年(24.2°C)よりかなり高かった。降水量は163.5mmで前年同月(545.0mm)より少なかった。
- ・ 高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあり大雨となった所があった。平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年並み、日照時間は平年より多かった。

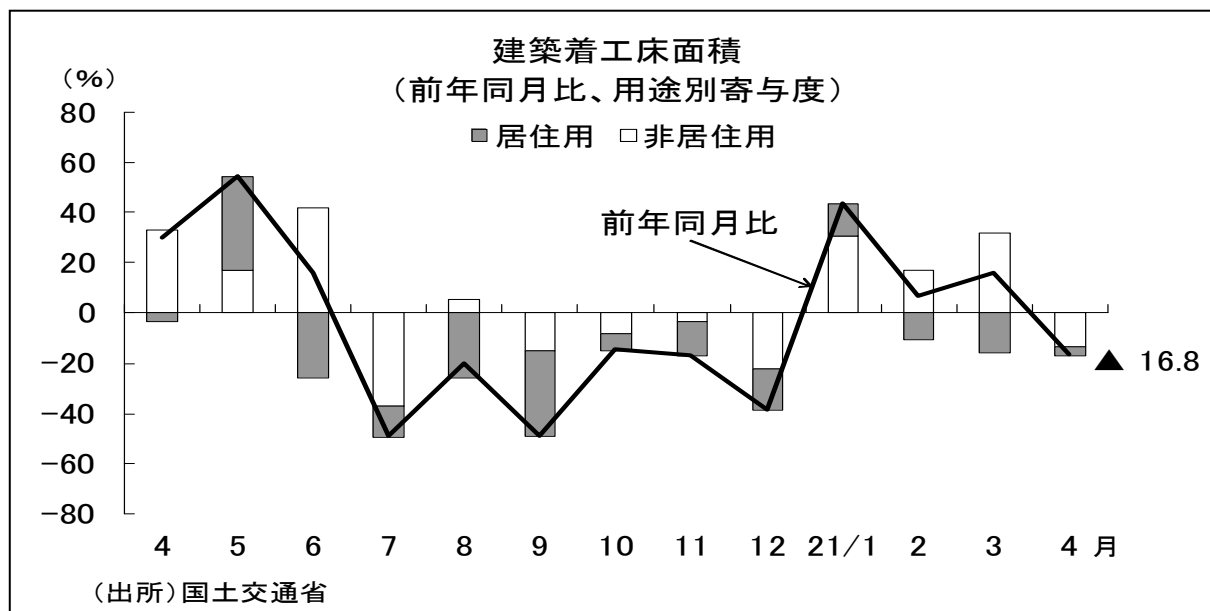
## 2. 建設関連

### (1) 公共工事請負金額：2カ月連続で増加



- 公共工事請負金額は、280 億 5,652 万円で、独立行政法人等・その他は減少したが、国、県、市町村は増加したことから前年同月比 47.3%増となり、2カ月連続で前年を上回った。
- 発注者別では、国 (同 95.3%増)、県 (同 10.8%増)、市町村 (同 34.7%増) は増加し、独立行政法人等・その他 (同 7.3%減) は減少した。

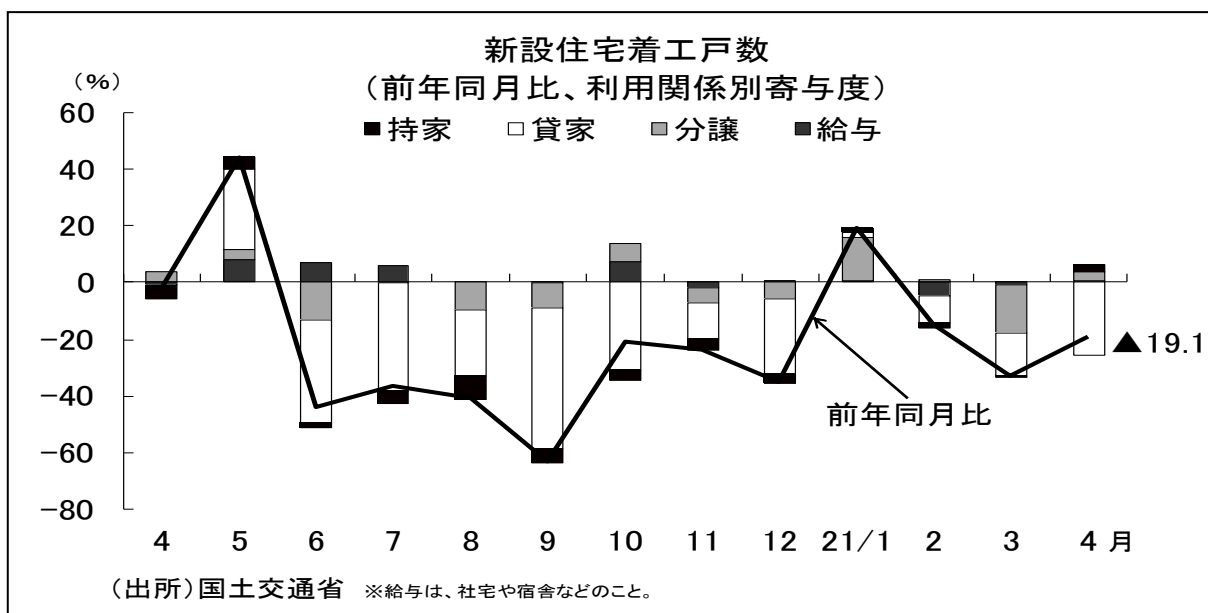
### (2) 建築着工床面積：4カ月ぶりに減少



- 建築着工床面積 (4月) は 14 万 6,455 m<sup>2</sup> となり、居住用、非居住用ともに減少したことから前年同月比 16.8%減と 4カ月ぶりに前年を下回った。用途別では、居住用は同 7.6%減となり、非居住用は同 24.3%減となった。
- 建築着工床面積を用途別 (大分類) にみると、居住用では、居住専用は減少し、居住産業併用は増加した。非居住用では、医療、福祉用などが増加し、飲食店・宿泊業用や公務用などが減少した。

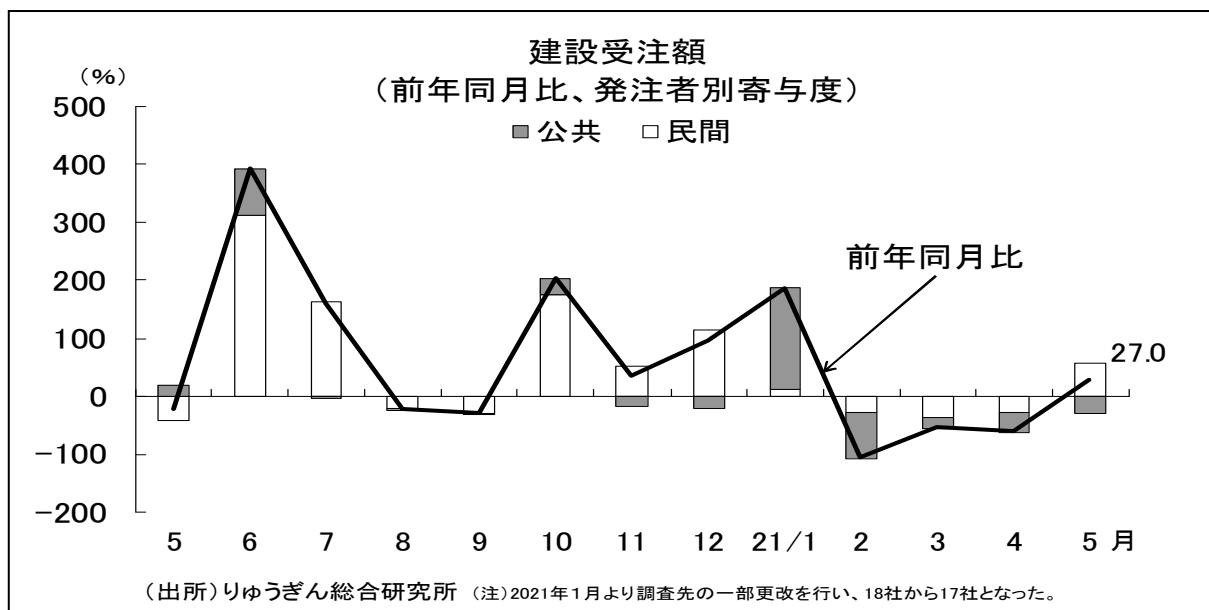


(3) 新設住宅着工戸数：3カ月連続で減少



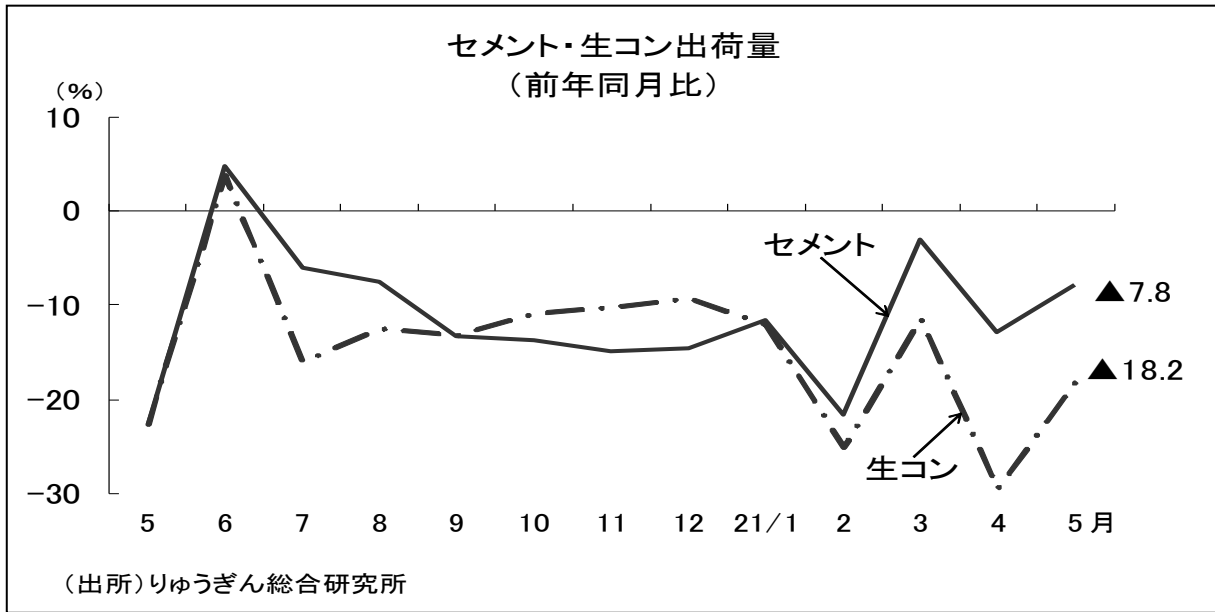
- ・ 新設住宅着工戸数（4月）は913戸となり、持家、分譲、給与は増加したが、貸家は減少したことから前年同月比19.1%減と3カ月連続で前年を下回った。
- ・ 利用関係別では、持家（218戸）が同16.0%増、分譲（245戸）が同15.6%増、給与（7戸）が全増と増加した。貸家（443戸）が同39.2%減と減少した。

(4) 建設受注額：4カ月ぶりに増加



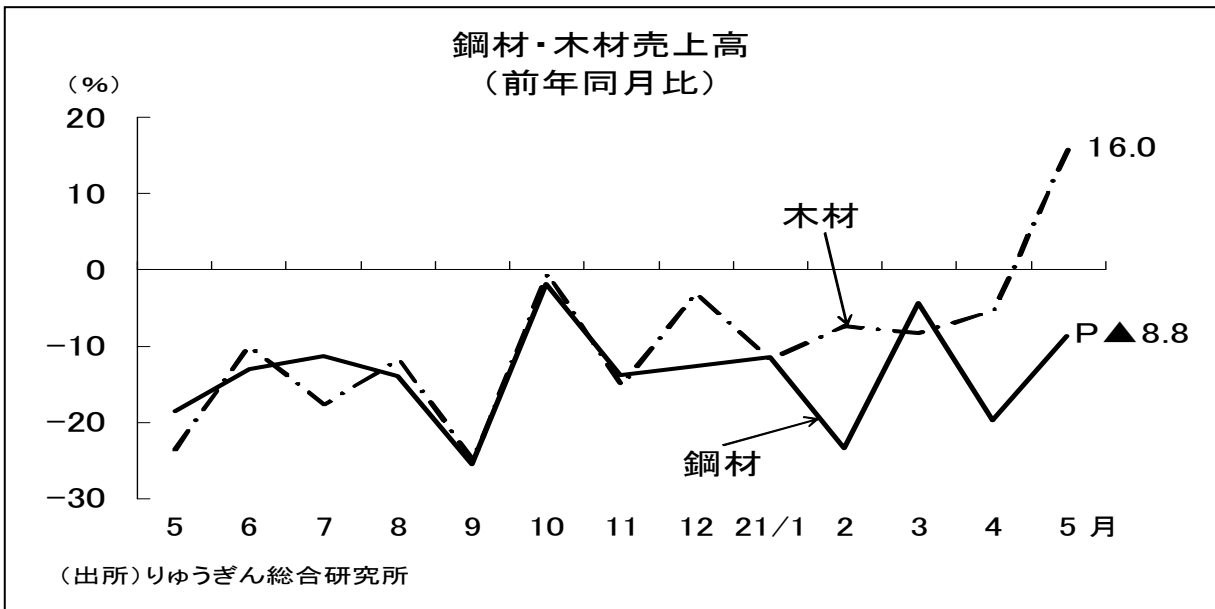
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社）は、公共工事は減少したものの、民間工事は増加したことから、前年同月比27.0%増と4カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 発注者別では、公共工事（同62.3%減）は4カ月連続で減少し、民間工事（同110.2%増）は4カ月ぶりに増加した。

(5) セメント・生コン：セメントは11カ月連続で減少、生コンは11カ月連続で減少



- ・ セメント出荷量は5万4,507トンとなり、前年同月比7.8%減と11カ月連続で前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量は8万4,353 m<sup>3</sup>で同18.2%減となり、11カ月連続で前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、一般土木向けなどが増加し、防衛省向けや米軍工事向けなどが減少した。民間工事では、電力関連向けなどが増加し、分譲マンション向けや貸家向けなどが減少した。

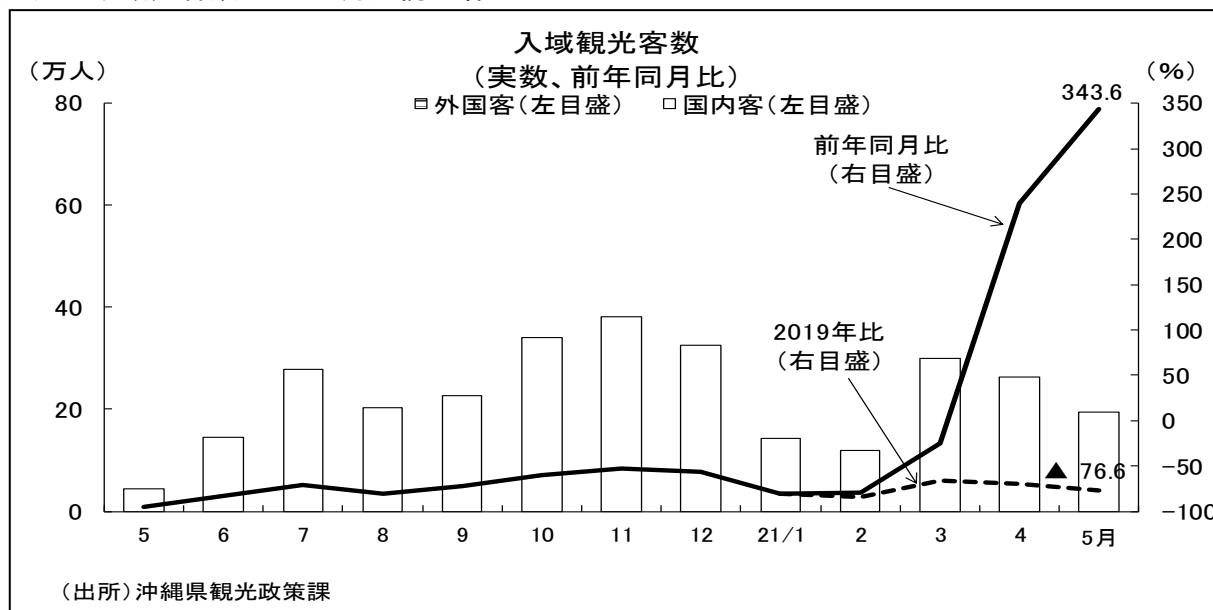
(6) 鋼材・木材：鋼材は20カ月連続で減少、木材は18カ月ぶりに増加



- ・ 鋼材売上高（速報値）は、鉄スクラップなど原材料の需給ひっ迫により一部で単価の上昇がみられるものの、分譲住宅など民間工事の引き合いが弱いことなどから前年同月比 8.8%減と 20カ月連続で前年を下回った。
- ・ 木材売上高は、需給ひっ迫により木材価格が上昇したことなどから同 16.0%増と 18 カ月ぶりに前年を上回った。

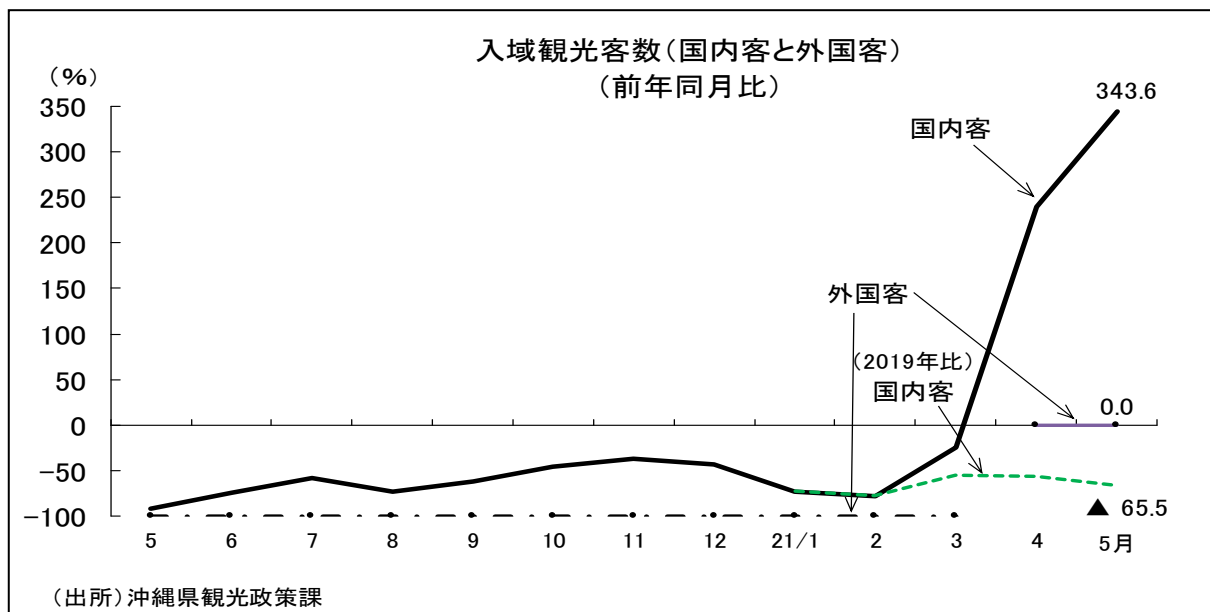
### 3. 観光関連

#### (1) 入域観光客数 : 2カ月連続で増加



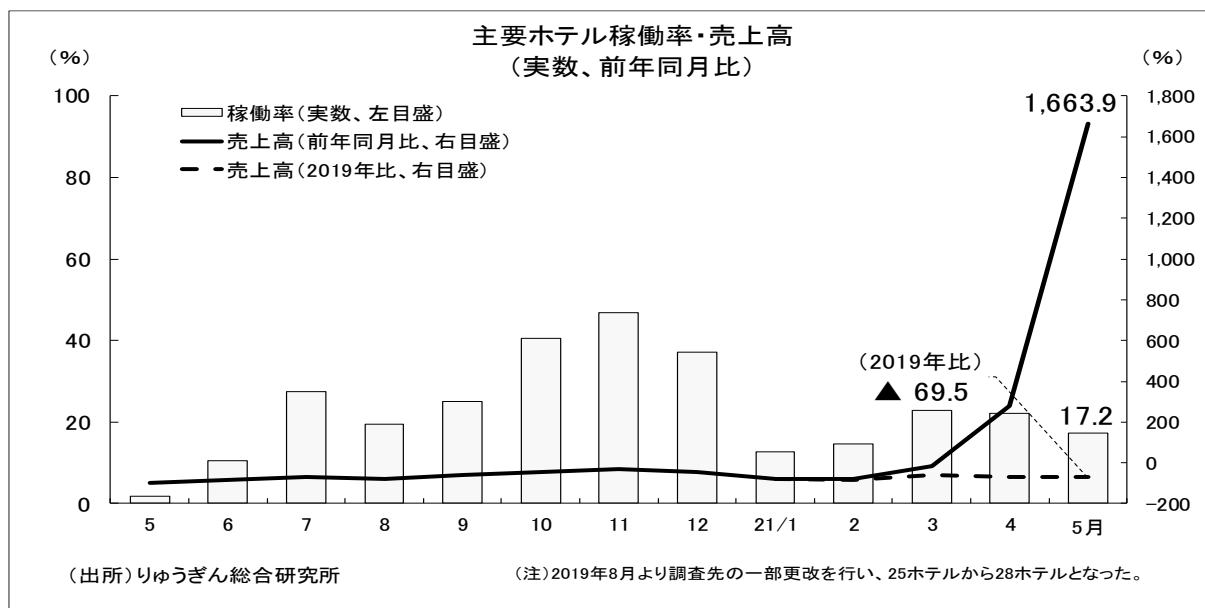
- ・入域観光客数は、19万5,200人(前年同月比343.6%増)となり、2カ月連続で前年を上回った。
- ・路線別では、空路は19万4,300人(同343.6%増)となり2カ月連続で前年を上回った。海路は900人(同350%増)となり2カ月連続で前年を上回った。
- ・緊急事態宣言により人的移動が制限された2020年5月との比較となったことから、大幅な増加となった。
- ・新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は76.6%の減少となった。

#### (2) 入域観光客数(国内客、外国客) : 国内客は増加、外国客は14カ月連続で0人



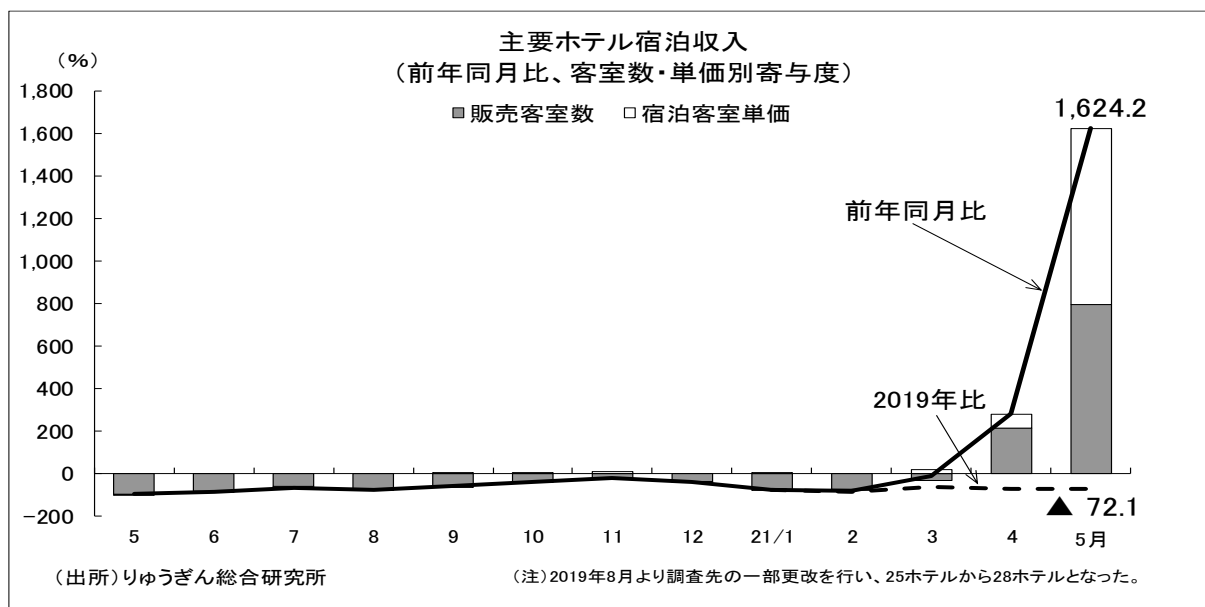
- ・国内客は、19万5,200人(前年同月比343.6%増)となり、2カ月連続で前年を上回った。
- ・外国客は、2020年4月以降14カ月連続で0人となった。
- ・新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、国内客は65.5%の減少、外国客は全減となった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率、売上高ともに増加



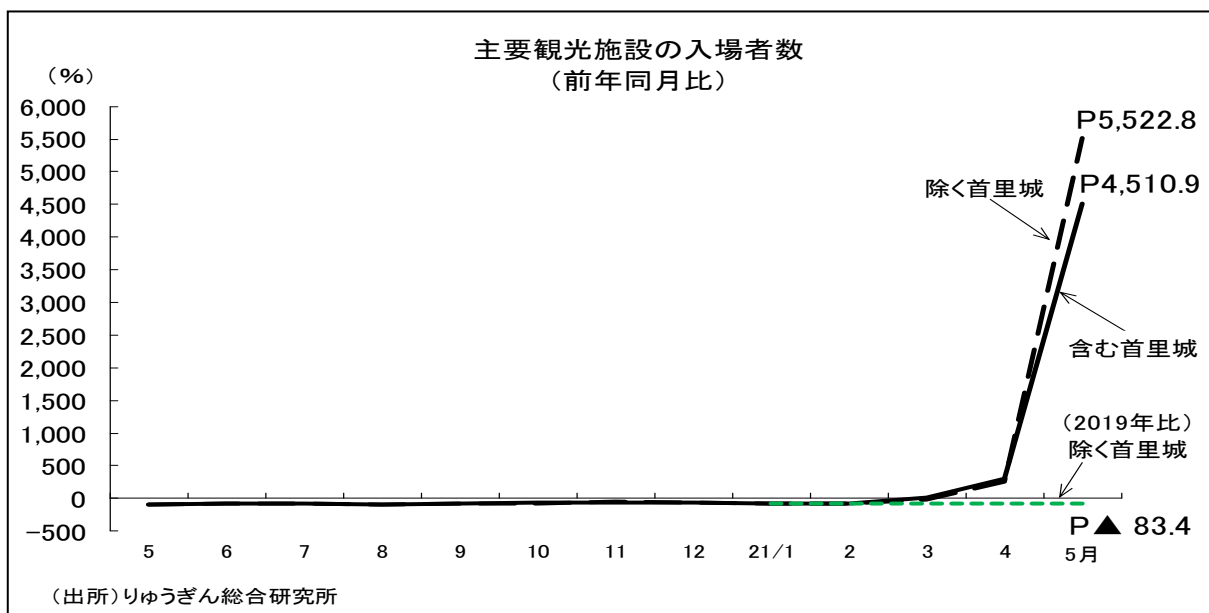
・主要ホテルは、客室稼働率は17.2%となり、前年同月差15.3%ポイント上昇して2カ月連続で前年を上回った。売上高は同1,663.9%増となった。那覇市内ホテルは、客室稼働率は16.8%と同13.4%ポイント上昇して2カ月連続で前年を上回り、売上高は同526.4%増と前年を大きく上回った。リゾート型ホテルは、客室稼働率は17.4%と同16.1%ポイント上昇して2カ月連続で前年を上回り、売上高は同2,358.3%増と前年を大きく上回った。2020年5月の緊急事態宣言時にはホテルの休業が相次いだことから、今年はその反動が表れた。新型コロナ以前の2019年と比較した売上高は、全体は69.5%の減少、那覇市内ホテルは80.5%減少、リゾート型ホテルは66.6%減少となった。

(4) 主要ホテル宿泊収入：2カ月連続で増加



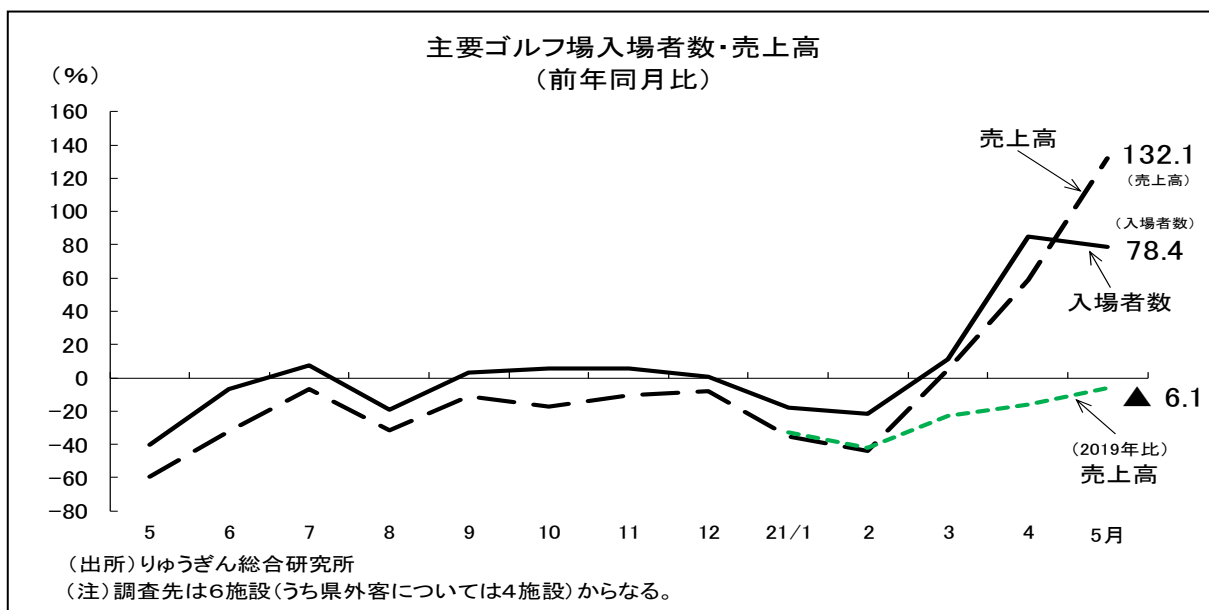
・主要ホテル売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）、宿泊客室単価（価格要因）ともに上昇し、前年同月比1,624.2%増と2カ月連続で前年を上回った。那覇市内ホテルは、販売客室数、宿泊客室単価ともに上昇し、同423.8%増と2カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテルは、販売客室数、宿泊客室単価ともに上昇し、同2,472.0%増と2カ月連続で前年を上回った。新型コロナ以前の2019年と比較した宿泊収入は、全体は72.1%の減少、那覇市内ホテルは81.5%減少、リゾート型ホテルは69.9%減少となった。

(5) 主要観光施設の入場者数：3カ月連続で増加



- ・ 主要観光施設の入場者数（除く首里城、速報値）は、前年同月比4,510.9%増となり、3カ月連続で前年を上回った。首里城を含むベースは、同5,522.8%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で多くの観光施設が休業した2020年5月との比較となり、大幅な増加となった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した入場者数は、除く首里城は83.4%の減少、含む首里城は85.8%減少となった。

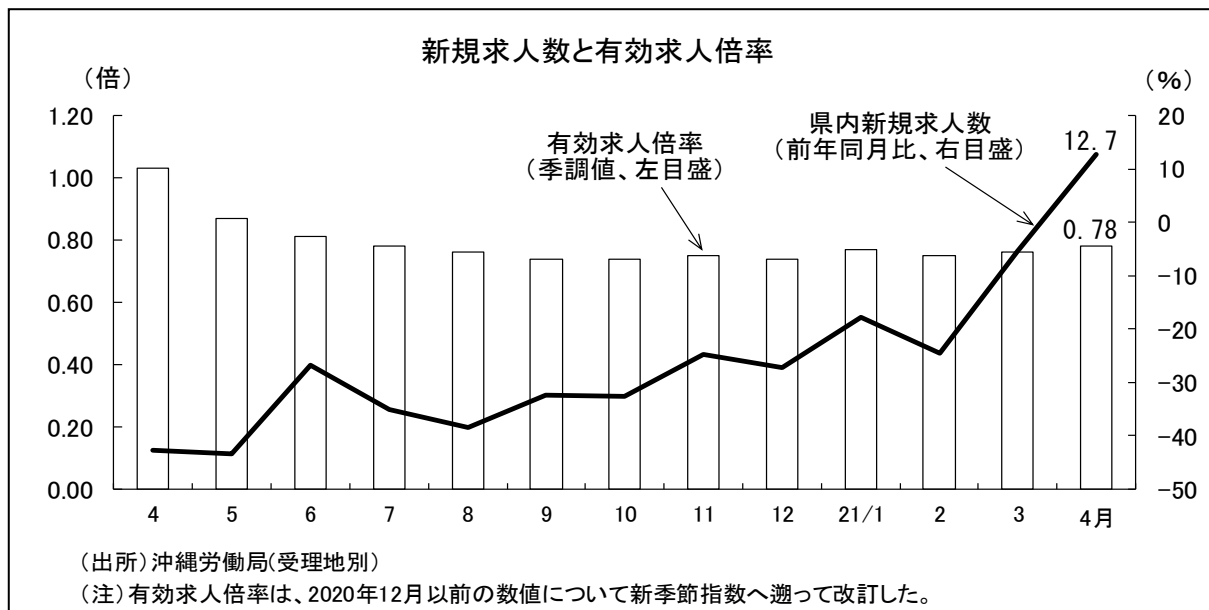
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数、売上高ともに3カ月連続で増加



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比78.4%増と3カ月連続で前年を上回った。県内客は3カ月連続で前年を上回り、県外客は2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 売上高は同132.1%増と3カ月連続で前年を上回った。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較すると、入場者数は6.6%増加（県内客は増加、県外客は減少）、売上高は6.1%の減少となった。

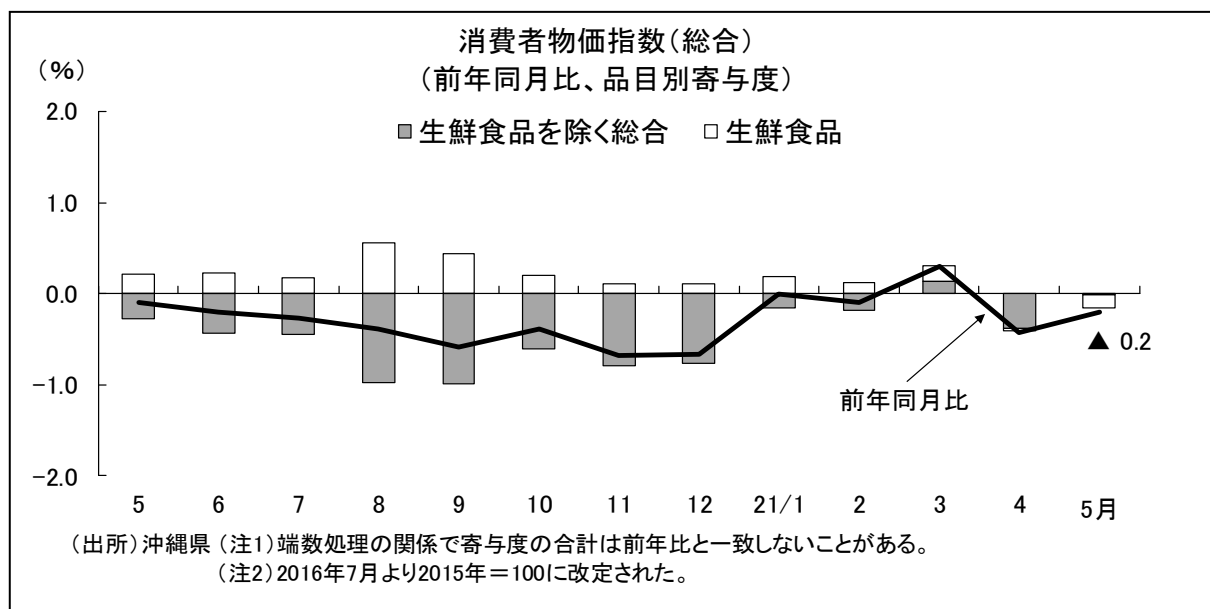
## 4. その他

### (1) 雇用関連（再掲）：新規求人数は減少、有効求人倍率（季調値）は上昇



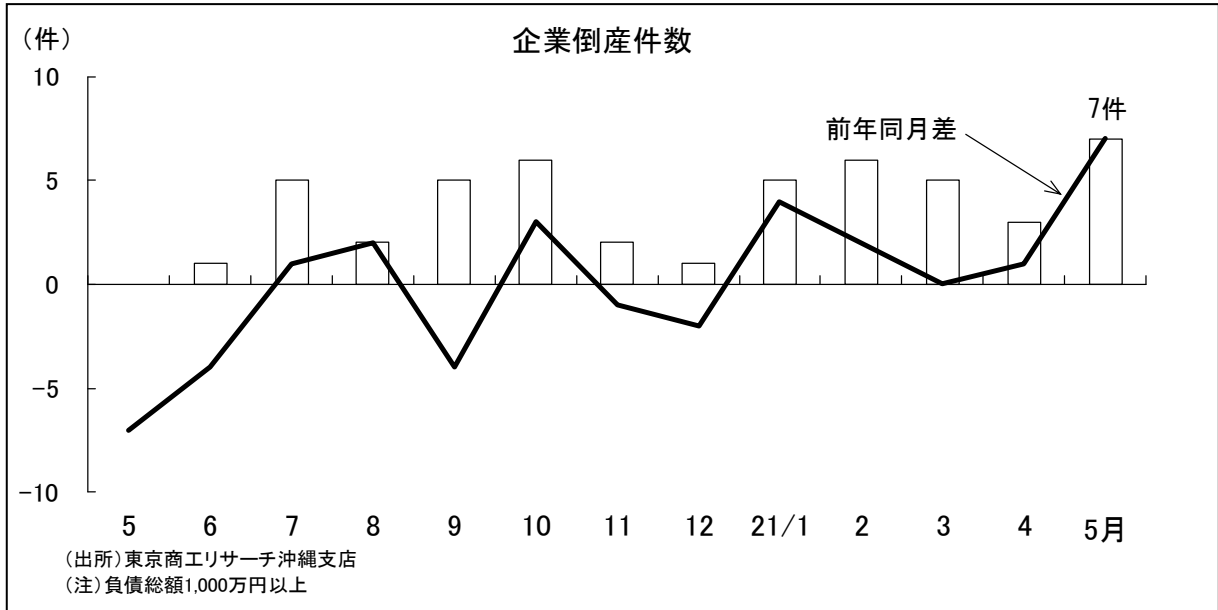
- 新規求人数（4月）は、前年同月比 12.7%増となり 17 カ月ぶりに前年を上回った。産業別にみると、卸売業・小売業やサービス業などで減少した。有効求人倍率（4月、季調値）は 0.78 倍と、前月より 0.02 ポイント上昇した。
- 労働力人口（4月）は、76 万 3,000 人で同 3.2%増となり、就業者数は、73 万 5,000 人で同 2.9%増となった。完全失業者数は 2 万 8,000 人で同 12.0%増となり、完全失業率（4月、季調値）は 3.9%と、前月より 0.5%ポイント上昇した。

### (2) 消費者物価指数：2 カ月連続で下落



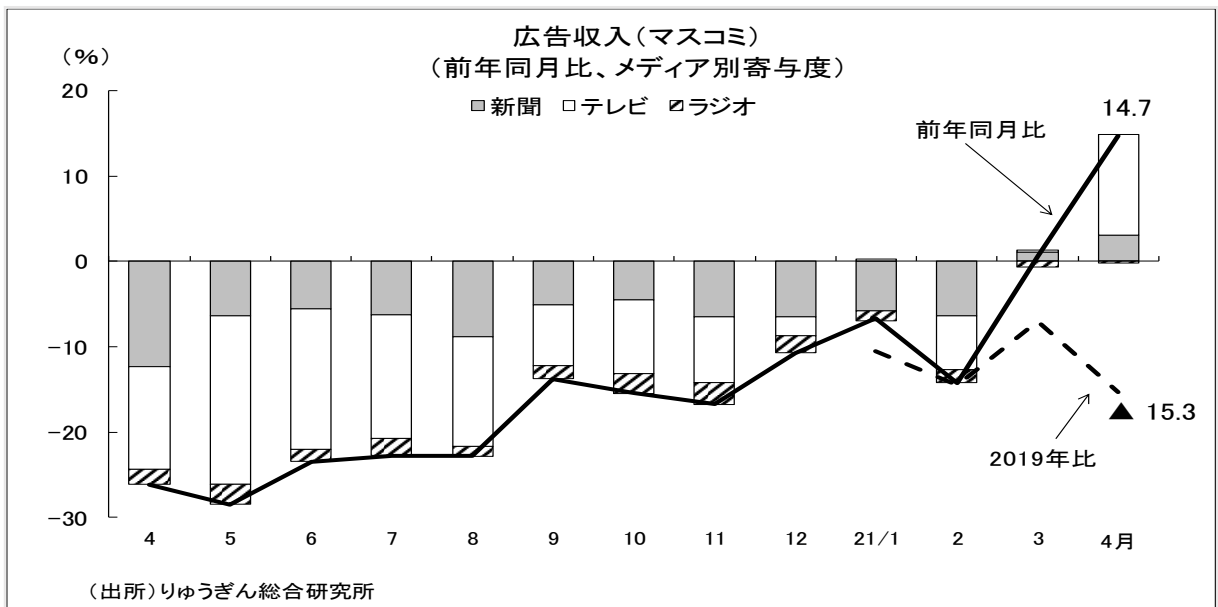
- 消費者物価指数は、前年同月比 0.2%減と 2 カ月連続で前年を下回った。生鮮食品を除く総合は同 0.0%で前年と同水準となった。
- 品目別の動きをみると、住居などは上昇し、光熱・水道、交通・通信などは下落した。

(3) 企業倒産：件数は増加、負債総額は増加



- ・ 前年の倒産件数は0件であり、負債総額も発生しなかった。
- ・ 倒産件数は、7件で前年同月を7件上回った。業種別では、建設業3件（同3件増）、製造業1件（同1件増）、卸売業1件（同1件増）、小売業1件（同1件増）となった。
- ・ 負債総額は13億5,900万円となり、前年同月比で全増となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：2カ月連続で増加



- ・ 広告収入（マスコミ：4月）は、前年同月比14.7%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 2020年3月から新型コロナウイルス感染症によるイベントなどの中止を受けて、広告収入の減少が続いていた反動で増加した。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較すると、15.3%の減少となった。

沖縄県内の主要経済指標……………17

〃 金融統計……………19



## 沖縄県内の主要経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	電気製品 卸売額	新車販売 台数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2018	1.9	▲ 0.6	1.7	▲ 4.5	5.9	▲ 0.7	346,669	▲ 1.3	2,293	1.9
2019	▲ 4.8	▲ 0.1	1.4	11.3	▲ 0.7	3.6	326,534	▲ 5.8	1,849	▲ 19.4
2020	▲ 35.1	0.4	2.5	▲ 2.8	▲ 17.1	0.5	308,119	▲ 5.6	1,555	▲ 15.9
2020 4	▲ 75.1	1.6	3.2	▲ 0.9	▲ 39.3	▲ 5.9	23,377	37.2	176	30.0
5	▲ 66.2	2.5	5.2	▲ 18.9	▲ 54.0	▲ 24.3	19,042	▲ 9.5	136	54.2
6	▲ 31.7	2.1	5.1	9.5	▲ 32.7	12.2	29,970	44.5	161	16.1
7	▲ 27.9	1.7	2.6	0.8	▲ 18.7	7.1	44,577	▲ 14.1	126	▲ 49.3
8	▲ 42.7	▲ 0.3	2.0	▲ 12.4	▲ 14.9	3.7	30,333	0.3	147	▲ 20.4
9	▲ 44.0	▲ 7.5	▲ 5.6	▲ 15.0	▲ 11.4	▲ 4.3	32,749	0.7	99	▲ 49.2
10	▲ 23.0	1.5	3.6	▲ 2.7	23.1	2.7	26,886	0.7	140	▲ 14.7
11	▲ 27.0	2.6	4.7	▲ 9.7	3.3	4.8	18,076	▲ 12.0	113	▲ 17.0
12	▲ 19.3	0.6	2.4	0.8	▲ 0.2	9.4	17,672	▲ 21.9	84	▲ 38.6
2021 1	▲ 37.7	2.0	4.1	16.1	4.9	3.2	16,342	7.9	121	43.5
2	▲ 22.6	▲ 2.0	0.1	▲ 6.1	▲ 15.6	6.6	15,448	5.8	121	6.5
3	▲ 3.5	▲ 2.3	▲ 0.4	▲ 2.9	1.0	5.4	34,094	▲ 4.5	203	15.9
4	113.0	▲ 2.3	▲ 0.3	▲ 23.1	▲ 9.5	14.6	28,352	21.3	146	▲ 16.8
5	56.4	▲ 1.2	0.8	7.7	30.4	22.4	28,056	47.3	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2018	16,803	1.3	9.3	▲ 1.8	▲ 4.2	2.7	10.6	▲ 2.6	▲ 1.2	▲ 2.4
2019	15,098	▲ 10.1	▲ 11.9	0.3	1.4	4.0	7.2	0.8	▲ 0.9	▲ 2.2
2020	10,703	▲ 29.1	3.1	▲ 10.0	▲ 10.4	▲ 11.6	▲ 11.6	▲ 71.6	▲ 7.6	▲ 15.7
2020 4	1,129	▲ 2.1	7.7	▲ 9.3	▲ 11.6	▲ 1.3	▲ 9.8	▲ 94.9	▲ 47.2	▲ 26.2
5	1,019	44.1	▲ 22.8	▲ 22.7	▲ 22.6	▲ 18.7	▲ 23.6	▲ 99.6	▲ 40.2	▲ 28.5
6	767	▲ 44.2	392.6	4.8	3.8	▲ 13.2	▲ 10.0	▲ 83.8	▲ 6.5	▲ 23.4
7	896	▲ 36.9	159.2	▲ 6.1	▲ 16.0	▲ 11.4	▲ 17.7	▲ 76.1	7.7	▲ 22.7
8	993	▲ 41.0	▲ 23.7	▲ 7.6	▲ 12.5	▲ 14.0	▲ 11.7	▲ 94.5	▲ 19.4	▲ 22.8
9	600	▲ 63.4	▲ 30.7	▲ 13.3	▲ 13.2	▲ 25.6	▲ 25.1	▲ 78.9	3.3	▲ 13.8
10	985	▲ 20.9	202.4	▲ 13.7	▲ 10.9	▲ 1.9	▲ 0.6	▲ 71.1	5.4	▲ 15.5
11	862	▲ 23.7	35.0	▲ 14.9	▲ 10.3	▲ 13.9	▲ 15.1	▲ 60.9	5.9	▲ 16.8
12	804	▲ 35.4	94.3	▲ 14.6	▲ 9.3	▲ 12.7	▲ 3.1	▲ 67.3	0.4	▲ 10.7
2021 1	798	19.1	186.3	▲ 11.7	▲ 12.0	▲ 11.5	▲ 11.7	▲ 80.4	▲ 18.2	▲ 6.7
2	751	▲ 15.0	▲ 107.4	▲ 21.7	▲ 25.1	▲ 23.5	▲ 7.4	▲ 76.0	▲ 21.4	▲ 14.2
3	731	▲ 33.2	▲ 54.9	▲ 3.0	▲ 11.4	▲ 4.5	▲ 8.4	4.2	11.0	0.6
4	913	▲ 19.1	▲ 61.9	▲ 12.9	▲ 29.5	▲ 19.9	▲ 5.4	302.8	84.9	14.7
5	-	-	27.0	▲ 7.8	▲ 18.2	P▲ 8.8	16.0	P4,510.9	78.4	-
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 建設受注額は、2021年1月より調査先を18社から17社とした。

注) ゴルフ場入場者数は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

## 沖縄県内の主要経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		鉱工業生産指数(季調値)	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2015年=100	前年比
2018	9,847.7	4.8	2,903.8	14.2	80.5	71.9	▲ 0.3	▲ 2.3	90.0	▲ 2.6
2019	10,163.9	3.2	2,930.0	0.9	80.9	69.7	▲ 2.2	▲ 3.4	87.1	▲ 3.2
2020	3,736.6	▲ 63.2	256.9	▲ 91.2	31.7	31.4	▲ 60.1	▲ 59.5	-	-
2020 4	77.3	▲ 90.9	0.0	▲ 100.0	8.2	6.6	▲ 89.4	▲ 92.4	70.7	▲ 18.4
5	44.0	▲ 94.7	0.0	▲ 100.0	3.4	1.3	▲ 96.9	▲ 98.6	67.9	▲ 26.8
6	144.1	▲ 83.4	0.0	▲ 100.0	8.3	11.3	▲ 88.7	▲ 85.5	73.3	▲ 15.0
7	277.3	▲ 71.2	0.0	▲ 100.0	24.0	29.1	▲ 75.9	▲ 68.1	79.7	▲ 15.3
8	202.8	▲ 80.1	0.0	▲ 100.0	19.1	19.7	▲ 81.6	▲ 77.4	76.1	▲ 13.3
9	227.6	▲ 71.9	0.0	▲ 100.0	18.7	27.7	▲ 77.2	▲ 56.4	70.9	▲ 17.0
10	341.2	▲ 59.9	0.0	▲ 100.0	32.7	43.8	▲ 68.0	▲ 37.2	72.1	▲ 16.3
11	381.1	▲ 52.3	0.0	▲ 100.0	44.2	48.0	▲ 63.7	▲ 19.7	75.6	▲ 10.9
12	326.2	▲ 56.8	0.0	▲ 100.0	38.8	36.6	▲ 63.8	▲ 38.4	72.1	▲ 7.5
2021 1	144.0	▲ 80.2	0.0	▲ 100.0	13.7	12.4	▲ 82.5	▲ 76.8	77.2	▲ 7.9
2	118.8	▲ 79.9	0.0	▲ 100.0	18.3	13.1	▲ 77.8	▲ 81.3	81.2	▲ 18.9
3	299.2	▲ 24.5	0.0	▲ 100.0	24.4	22.1	▲ 33.7	▲ 9.2	94.4	▲ 14.8
4	262.6	239.7	0.0	0.0	21.4	22.3	118.6	338.8	-	-
5	195.2	343.6	0.0	0.0	16.8	17.4	526.4	2,358.3	-	-
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2019年8月より調査先が25ホテルから28ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2019年4月より2015年=100に改定された。

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人数(県内)	通関輸出	通関輸入
		百万円	前年比							
2018	44	12,416	99.5	0.9	3.4	2.3	1.31	3.6	28,543	175,452
2019	50	5,714	▲ 54.0	0.4	2.7	2.7	1.34	3.3	31,126	148,698
2020	34	3,640	▲ 36.3	▲ 0.3	3.3	0.1	0.90	▲ 27.2	30,063	120,799
2020 4	2	30	▲ 96.4	▲ 0.2	3.6	▲ 0.1	1.03	▲ 42.6	12,207	11,381
5	0	0	▲ 100.0	▲ 0.1	3.2	0.1	0.87	▲ 43.4	866	7,143
6	1	490	200.6	▲ 0.2	3.3	▲ 0.1	0.81	▲ 26.8	1,085	11,530
7	5	862	353.7	▲ 0.3	3.4	▲ 1.0	0.78	▲ 35.0	1,636	12,050
8	2	182	100.0	▲ 0.4	3.4	0.4	0.76	▲ 38.5	2,196	12,342
9	5	84	▲ 92.0	▲ 0.6	3.3	0.6	0.74	▲ 32.3	1,212	8,390
10	6	360	318.6	▲ 0.4	3.6	▲ 1.6	0.74	▲ 32.5	2,917	7,088
11	2	87	▲ 86.8	▲ 0.7	3.3	0.5	0.75	▲ 24.8	1,471	6,368
12	1	88	▲ 72.3	▲ 0.7	3.9	0.4	0.74	▲ 27.3	1,025	9,511
2021 1	5	312	940.0	0.0	3.9	▲ 0.9	0.77	▲ 17.7	1,516	6,543
2	6	454	▲ 14.3	▲ 0.1	3.7	▲ 1.2	0.75	▲ 24.5	1,338	7,295
3	5	5,753	541.4	0.3	4.4	▲ 1.2	0.76	▲ 5.5	4,472	7,239
4	3	37	23.3	▲ 0.4	3.9	2.9	0.78	12.7	16,931	7,333
5	7	1,359	100.0	▲ 0.2	-	-	-	-	1,879	9,946
出所	東京商工リサーチ沖縄支店		県企画部統計課		沖縄労働局			沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2016年7月より2015年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2020年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

## 沖縄県内の金融統計

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2018FY	2,511	4,092	▲ 1,582	1.506	201	▲ 4.7	3,599	▲ 2.1	24	0.007
2019FY	2,658	4,076	▲ 1,415	1.465	189	▲ 5.9	3,381	▲ 6.0	5	0.002
2020FY	3,019	2,812	207	1.399	165	▲ 13.1	3,016	▲ 10.8	7	0.002
2020 4	360	130	229	1.455	15	▲ 4.9	291	▲ 13.1	3	0.010
5	98	185	▲ 87	1.441	12	▲ 32.3	223	▲ 37.5	0	0.000
6	543	210	333	1.427	17	14.4	300	32.0	0	0.000
7	212	271	▲ 58	1.419	15	▲ 19.9	284	▲ 16.8	0	0.000
8	202	203	▲ 1	1.412	14	▲ 4.2	260	7.8	0	0.000
9	201	237	▲ 35	1.410	13	▲ 23.0	234	▲ 21.2	0	0.000
10	203	315	▲ 112	1.406	13	▲ 18.1	211	▲ 20.5	1	0.007
11	250	243	6	1.404	14	5.0	269	28.1	0	0.000
12	486	179	306	1.399	13	▲ 19.8	218	▲ 24.5	0	0.000
2021 1	77	380	▲ 303	1.396	12	▲ 25.8	212	▲ 27.0	3	0.012
2	189	190	▲ 1	1.389	12	▲ 11.0	216	0.7	0	0.000
3	198	269	▲ 70	1.386	16	▲ 8.0	299	▲ 5.3	0	0.000
4	316	180	136	1.385	14	▲ 7.2	251	▲ 13.6	3	0.012
5	-	-	-	-	13	5.2	242	8.7	0	0.000
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額)÷手形交換高(金額)×100

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む未残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む未残)		県内金融機関 の預金残高 (未残)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (未残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(未残)	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2018FY	48,679	2.5	38,613	5.0	49,141	3.4	8,587	1.1	1,202	2.5
2019FY	49,931	2.6	39,293	1.8	50,358	2.5	8,641	0.6	1,225	1.9
2020FY	55,734	11.6	40,847	4.0	56,384	12.0	10,320	19.4	2,865	133.8
2020 4	51,610	4.7	39,068	2.8	52,012	4.7	8,877	3.8	1,350	14.9
5	52,787	7.1	39,387	3.2	53,209	7.1	9,272	9.0	1,488	28.6
6	54,208	8.4	39,584	3.5	54,629	8.4	9,718	14.9	1,783	54.0
7	54,155	9.1	39,788	3.9	54,653	9.2	9,966	18.0	2,025	74.6
8	54,764	9.4	39,955	4.1	55,252	9.5	10,084	19.3	2,211	90.4
9	54,537	9.2	40,043	3.9	55,062	9.4	10,166	21.1	2,362	102.1
10	54,812	10.2	40,029	4.0	55,367	10.4	10,228	22.1	2,452	108.6
11	55,404	10.3	40,106	4.0	55,939	10.5	10,266	22.8	2,516	114.5
12	55,474	10.7	40,259	3.9	56,097	11.1	10,392	22.8	2,606	120.8
2021 1	55,315	11.7	40,323	3.9	55,933	12.0	10,378	22.7	2,677	126.6
2	55,647	11.7	40,652	4.4	56,271	12.1	10,387	22.9	2,720	130.0
3	55,734	11.6	40,847	4.0	56,384	12.0	10,320	19.4	2,865	133.8
4	57,066	10.6	40,714	4.2	57,685	10.9	10,326	16.3	2,958	119.2
5	57,305	8.6	40,752	3.5	-	-	10,327	11.4	2,981	100.3
出所	沖縄県銀行協会				日本銀行本店		沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡り改訂した。